

2025年2月16日

私たちは今月1日に5回目の総会を開催しました。この総会に市民連合ふくおかの星乃代表より心のこもったメッセージをいただきました。ありがとうございました。

総会は、1年間の活動だけでなく、設立後4年間の活動を振り返る場でもありましたので、それを含めて、また今後のやや大胆な目標も含めて報告を行います。

まず2025年総会&新年会の結果です。

- 参加者数は総会26名でほぼ昨年並み
- 定例の街頭宣伝などに日頃から参加している日本共産党や市民ネットワーク福岡などの政党、議員のほか、新年会には立憲民主の衆議院候補者が出席し、社民(4区)の衆議院候補者からもメッセージを送っていただきました
- 今総会にもきちんと文書化された議案が提示され、1区独自の運動(九大箱崎キャンパス跡地の再開発問題、最近では住宅地に隣接する巨大倉庫の建設に反対する運動)に関する発言もあり、短時間ながら今年も成功しました
- 役員の世代継承、ジェンダー平等化にある程度成功しました。11名の役員中、新人が3名で30歳台から70歳台までバランスの取れた構成になりました。また女性が半数の5名
- 新年会ではベートーベンの第九を歌ったのも好評でした(レベルは今ひとつでしたが)

今年の総会に限らず、1区市民連合がある程度の規模で活動を継続できているのは、毎月1回の会議による集団的な運営と、会員向けの会報の発行、会費の納入をすすめてきたためです。

街頭宣伝は53回となりました。広報という意味で振り返ると、会員向けの通信は毎月=通算52号、市民向けのニュースは2ヶ月に1回=通算23号、会員・市民向けのブログは通算で170回投稿となっています。

今後はブログの強化とともに、ブログ以外のSNSを抜本的に強化するつもりであり、その担当候補者の若手を役員に加えました。これは現役世代の参加促進のためにもプラスに働きます。

昨年の会費納入者はおよそ100名ですが、私たちは1千人の会員めざし、参院選までに150人の会費納入者数を目標にしています。従来の枠にとどまらない会員拡大に踏み出すために以下のことを行いたいと思います。

- リーフレットの更新
- 住民の要求と、それに取り組む団体を掘り起こし、新たに会員に迎え入れる
- その要求を積極的に取り上げ、「政治を変える」運動に合流するように働きかける
- 街頭宣伝をはじめ、諸行動を各種の団体と連携して行うように働きかける

立憲野党、他の地域の市民連合、市民連合ふくおか、そして様々な要求に基づいて活動を行っている団体との連携が一層進むことを願って私たちからの報告とします。